年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　公民　　科目 公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（１～８組：稲見圭介）

使用教科書：（ 公共（実教出版）　　）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	社会を作る私たち 【知】青年期の意義と特徴について理解させる。 【思】人生における青年期の意義と特徴について多面的・多角的に考察し，表現させる。 【態】よりよく生きることについての自覚を深めさせる。社会の一員としての自覚を深め，自分の生き方を選択し，自己実現がめざさせる。	・青年期とは ・自己形成の課題 ・職業生活と社会参加 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人１台端末の活用	【知】青年期の意義と特徴について理解できている。 【思】人生における青年期の意義と特徴について多面的・多角的に考察し，表現できている。 【態】よりよく生きることについての自覚を深められている。社会の一員としての自覚を深め，自分の生き方を選択し，自己実現がめざせている。		○	○	14
	定期考査			○	○		1
	人間としてよく生きる、他者とともに生きる 【知】古代ギリシア・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容を理解させる。行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 【思】先人の生き方を通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方を考察させる。 【態】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，主体的に追究させる。選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し追究させる。	・古代ギリシアの人間観 ・自由の実現 ・人間と幸福 ・公正な社会をめざして ・教科書、資料集、ワークシート ・一人１台端末の活用	【知】古代ギリシア・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思】先人の生き方を通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方が考察できている。 【態】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，主体的に追究できている。選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。		○	○	16
	定期考査			○	○		1
2学期	日本国憲法の基本的性格、日本の政治機構 【知】日本国憲法の成立の経過，国会・内閣・裁判所の役割や権限を理解させる。 【思】日本国憲法が国民に保障する権利と，他者の権利や公共の利益との調和について考察させる。政治と民主主義，内閣の仕組みと役割，社会における法の役割について，多面的・多角的に考察させる。 【態】日本国憲法の基本原理に基づいた社会のあり方や，立法・行政・司法に関わる日本の政治機構に関する課題を主体的に追究させる。	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本的性格 ・政治機構と国会 ・行政権と行政機構の拡大 ・公正な裁判の保障 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人１台端末の活用	【知】日本国憲法の成立の経過，国会・内閣・裁判所の役割や権限を理解できている。 【思】日本国憲法が国民に保障する権利と，他者の権利や公共の利益との調和について考察させる。政治と民主主義，内閣の仕組みと役割，社会における法の役割について，多面的・多角的に考察している。 【態】日本国憲法の基本原理に基づいた社会のあり方や，立法・行政・司法に関わる日本の政治機構に関する課題を主体的に追究している。		○	○	17
	定期考査			○	○		1
	日本の政治機構と政治参加、現代の経済社会 【知】地方自治の本旨や住民の権利，日本の政党政治と選挙制度，政府の経済政策，日本の社会保障制度について理解させる。 【思】地域社会の課題，日本の政党政治の課題，一般会計歳出と財政再建，社会保障のあり方や公的年金制度の課題について，多面的・多角的に考察させる。 【態】地方自治，政党政治や選挙制度，税金の使途や財政再建，日本の将来的な社会保障や福祉の課題について関心を持たせ，主体的に追求させる。	・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加 ・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題 ・社会保障の役割 ・社会保障制度の課題 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人１台端末の活用	【知】地方自治の本旨や住民の権利，日本の政党政治と選挙制度，政府の経済政策，日本の社会保障制度について理解させる。 【思】地域社会の課題，日本の政党政治の課題，一般会計歳出と財政再建，社会保障のあり方や公的年金制度の課題について，多面的・多角的に考察している。 【態】地方自治，政党政治や選挙制度，税金の使途や財政再建，日本の将来的な社会保障や福祉の課題について関心を持ち，主体的に追求している。		○	○	16
	定期考査			○	○		1
3学期	日本経済の特質と国民生活 【知】消費者行政や消費者問題，日本における公害発生の原因と環境保全のための法整備，労働者の権利と法整備，日本的雇用形態の特徴や労働環境の変化について理解させる。 【思】消費者の権利と責任や契約のあり方，環境保全と経済活動の両立，望ましい働き方の実現について，多面的・多角的に考察させる。 【態】消費者の自立と自己責任，循環型社会の実現，就業意識とワークライフバランスの実現について関心を持たせ，主体的に追求させる。	・消費者問題 ・公害の防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・こんにちの労働問題 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人１台端末の活用	【知】消費者行政や消費者問題，日本における公害発生の原因と環境保全のための法整備，　労働者の権利と法整備，日本的雇用形態の特徴や労働環境の変化について理解している。 【思】消費者の権利と責任や契約のあり方，環境保全と経済活動の両立，望ましい働き方の実現について，多面的・多角的に考察している。 【態】消費者の自立と自己責任，循環型社会の実現，就業意識とワークライフバランスの実現について関心を持ち，主体的に追求している。		○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計 78